

構成されています。予算決算委員会は、平成二十四年九月定例会から常任委員会とし分科会方式を採用しているとのことです。

議会基本条例については、平成二十五年三月定例会で制定しています。

議会報告会については、平成二十六年五月に初めて議会報告会を実施し、平成二十七年は五月に行い、約六十名の参加があったとのことで、今後の実施について検証を行うとのことです。

また、平成二十五年六月定例会から正副議長選挙において立候補制を導入しています。

反問権については、委員会は平成二十五年四月から、本会議は平成二十五年六月から試行実施され、現在まで実例はないとのこと。

情報通信機器の議場や委員会室への持ち込みについては、平成二十四年十二月定例会から試行し、現在も試行中であるとのことでした。



平成二十八年三月 定例会の概要

平成二十八年三月定例会は、三月二日に開会し、二十三日まで二十二日間の会期で開きました。

定例会初日の二日には、市長の施政方針説明、市長から提出された議案の上程、説明が行われた後、各委員長が行政調査の報告を行いました。

四日から九日には、十二名の議員が一般質問を行い、九日の一般質問終了後には市長提出の議案に対する質疑を行った後、各議案を委員会へ付託しました。

十日、十一日、十四日及び十六日には、各常任委員会及び予算審査特別委員会を開き、付託された議案の審査を行いました。

最終日の二十三日には、各常任委員長、予算審査特別委員長の委員会審査結果報告を受け、各委員長報告に対する質疑、討論、採決を行いました。

平成二十八年度島原市一般会計予算では、本市の厳しい財政状況の中、行財政の見直しと経費削減を行う必要があるため、島原城の菖蒲園やグルメグランプリ事業など、総額八百十五万円を減額する修正動議が提出され可決しました。

市長提出の議案は二十三議案を可決、一議案を修正可決し、固定資産評価審査委員会委員については、本多善一郎氏、本田裕章氏、菅崎盛秋氏にそれぞれ同意しました。また、委員会提出議案の「島原市議会会議規則の一部を改正する規則」「無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書」を可決し、閉会しました。

会期日程

三月

二日(水)	本会議	議案上程、説明
三日(木)	休会	議案調査
四日(金)	本会議	一般質問(四名)
五日(土)	休会	
六日(日)	休会	
七日(月)	本会議	一般質問(三名)
八日(火)	本会議	一般質問(三名)
九日(水)	本会議	一般質問(二名)、議案質疑、委員会付託
十日(木)	委員会	付託案件審査(総務委員会)
十一日(金)	委員会	付託案件審査(産業建設委員会)
十二日(土)	休会	
十三日(日)	休会	
十四日(月)	委員会	付託案件審査(教育厚生委員会)
十五日(火)	休会	議事整理
十六日(水)	委員会	付託案件審査(予算審査特別委員会)
十七日(木)	休会	議事整理
十八日(金)	休会	議事整理
十九日(土)	休会	
二十日(日)	休会	
二十一日(月)	休会	
二十二日(火)	休会	議事整理
二十三日(水)	本会議	委員会審査報告、議案上程、説明、質疑、表決